



横瀬町議会だより

No.94 2012.4.15 発行

紹介します! 「私たちは農業委員会です!」 町の団体②

町内における農地の適正な利用や町の農業振興を図るため、
11名の委員が活動しています。



長島敏夫 委員 大沢淳一 委員 町田 正 委員 若林利昌 委員 町田修一 委員 小泉純一郎 委員 岸岡広雄 委員
村越通子 委員 中 隆義 会長 富田祐次 会長代理 鈴木紋子 委員

3月定例会

平成24年度予算を可決

「魅力・絆・希望」の

3プロジェクト

ほか

P.2

東奔西走! 現地視察

「安全性を確認」

P.4

一般質問

町に聞いた

町道整備・賃借地解消・人材活用・復興支援・木くずの受け入れ・子育て支援

「6名の議員が登壇」

P.5



今号の
ここに注目!

平成24年
度の町の

お金の使い道が決まりました。
赤谷地区上水道整備が始まるなど、議会も新事業に注目しています。4ページは、おなじみ「東奔西走」。災害廃棄物(木くず)の実証試験を視察し、議員は何を感じたのか……。ぜひご覧ください。

平成 24 年度予算 「魅力・絆・希望」の3プロジェクトを推進



赤谷地区の 上水道整備、着手!

平成 24 年 3 月定例会
(3月8日・9日・12日・13日)

平成 24 年度予算の あらまし

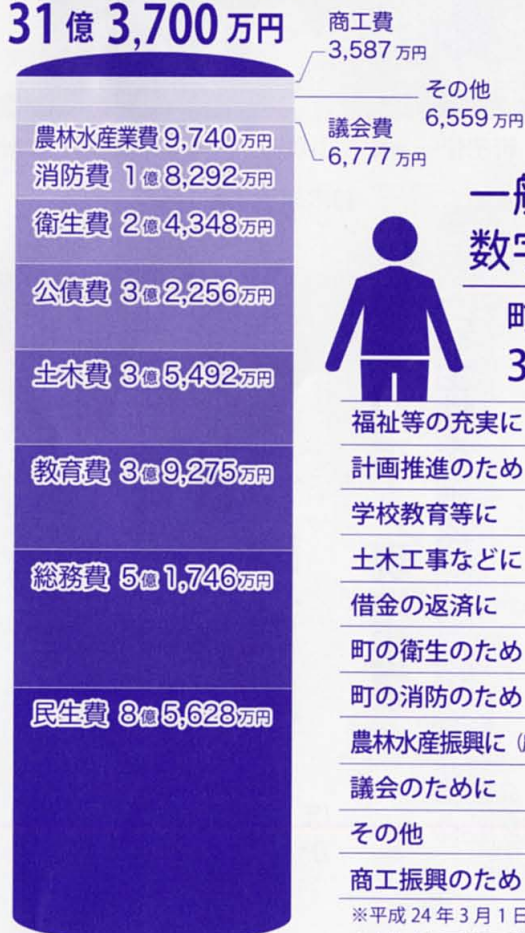
一般会計の予算総額は、31 億 3700 万円と昨年度予算 (31 億 3000 万円) より微増。また国民健康保険等の特別会計予算の合計は 19 億 5810 万円 (昨年度比 1.9%増)。水道事業会計予算として収益的収入及び支出が 2 億 76 万円、資本的支出が 1 億 4141 万円、合わせて 3 億 4217 万円 (昨年度比 7.6%増) となりました。道の駅の修繕、合宿誘致に向けた調査等の「魅力プロジェクト」、体験農園の貸し出し、ブコーさんオリジナル体操制作等の「絆プロジェクト」、赤谷地区の水道未普及地域の解消、LED購入費補助等の「希望プロジェクト」を重点施策として推進する予算となっています。

平成 24 年度 町のお金の使い道をチェック

(単位 万円
1万円未満 四捨五入)

町が使う見込みのお金 (歳出)

31 億 3,700 万円



一般会計予算、
数字で見ると……



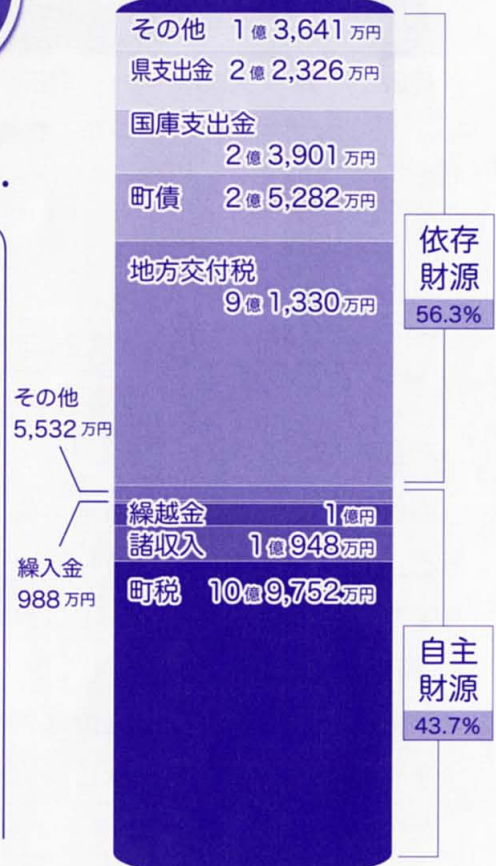
町民 1 人あたり
34 万 6,783 円

福祉等の充実に (民生費)	9 万 4,658 円
計画推進のため (総務費)	5 万 7,203 円
学校教育等に (教育費)	4 万 3,417 円
土木工事などに (土木費)	3 万 9,234 円
借金の返済に (公債費)	3 万 5,657 円
町の衛生のため (衛生費)	2 万 6,915 円
町の消防のため (消防費)	2 万 221 円
農林水産振興に (農林水産業費)	1 万 767 円
議会のために (議会費)	7,491 円
その他	7,250 円
商工振興のため (商工費)	3,965 円

※平成 24 年 3 月 1 日現在の人口 (9,046 人) で計算
※小数点以下は切り捨ててあります。

町に入る見込みのお金 (歳入)

31 億 3,700 万円



依存
財源
56.3%

自主
財源
43.7%



付託…議会(議員)の審査事項は広範囲にわたります。そのすべてを全議員で審査・審議すると膨大な時間がかかってしまいます。そこで、内容によって「総務文教厚生常任委員会」と「産業建設常任委員会」に振り分けて事前審査を任せます。これを「付託」といいます。付託された議案は、その後、本会議にかけられます。

平成 24 年 3 月定例会

審議した議案と結果

平成 24 年度 各会計予算

一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・下水道特別会計・水道事業会計 **全員賛成 可決**

条例を一部改正しました

横瀬町印鑑条例

横瀬町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

横瀬町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例

横瀬町重度心身障害者医療費支給に関する条例

横瀬町介護保険条例

規約の変更

横瀬町後期高齢者医療広域連合規約

以上すべて **全員賛成 可決**

平成 23 年度 補正予算

一般会計 (5 回目)・国民健康保険特別会計 (3 回目)・介護保険特別会計 (3 回目)・後期高齢者医療特別会計 (2 回目)・下水道特別会計 (3 回目)・水道事業会計 (3 回目) **全員賛成 可決**

専決処分を承認しました

横瀬町税条例の一部を改正する条例

平成 23 年度横瀬町一般会計補正予算

以上すべて **全員賛成 承認**

人事案件

横瀬町固定資産評価審査委員会委員の選任について
浅見文昭氏を再任 **全員賛成 同意**

請願・陳情

子ども・子育て新システムによる保育制度改革に反対し現行保育制度の拡充を求める意見書の提出を求める請願書 **賛成多数 採択**

障害者総合福祉法(仮称)の早期制定を求める請願書
年金減額について国へ意見書提出を求める陳情書

以上 **委員会付託**

意見書

子ども・子育て新システムによる保育制度改革に伴い懸念される保育制度の拡充を求める意見書案 **全員賛成 可決**

議会はここに注目、町に聞きました! (主な質疑)

問 来期の要員、組織運営計画は。
答 現状、組織変更は考えていません。

問 電力料金について、東電の値上げは織り込んでいるのか。また、値上げ反対の意思表示はするのか。
答 値上げは織り込んでいません。

問 反対は明言していませんが、積極的な了解もしていません。

問 納繰越分がすべて増額になっているか。
答 滞納額の 20% 強を見込んだものです。

問 緊急雇用は単年度雇用だが、継続的に考えられないか。
答 23 年度で終了と思っていました。24 年度も継続と言われました。県も単年度と考えており、当町も当面単年度で考えていきます。

問 電気料などすべての経費です。
答 予備費が 6558 万円と前年の倍以上、財政調整基金も 3000 万円で 3 倍となっている。予備費があるなら借地購入を考えていかないか。

問 災害が多いことなどから、非常時のため計上しました。必要に応じて土地は考えたいと思いませんか。
答 災害が多いことなどから、非常時のため計上しました。必要に応じて土地は考えたいと思いませんか。



現在のトイレ

問 ウォーターパーク・シラヤマのトイレ修繕工事の内容を詳しく聞きたい。
答 パーク内にある 2カ所のトイレを、右岸のもののは撤去し、左岸のものを改修工事をするものです。

平成 24 年度予算案に対する賛成討論がありました

赤岩森夫議員より

一般会計は前年度とほぼ同額で計上されたが、町の将来像である「緑かなでるころ和まむち」の実現に向け、慎重に予算編成がなされている。特別会計の介護保険料と後期高齢者医療保険料の増額は、保険料改定によるもので引き続き厳しい状況。経済情勢と政局の不安定さで、地方財政の逼迫がさらに進んでいるが、第 5 次総合振興計画による成果ある執行を期待する。

富田能成議員より

細かい支出項目までしっかり情報の開示が進んでいること、経費の削減意識が浸透し、ぜい肉の落ちた予算編成になっていることは評価。一方で、「選択と集中」「前例にとらわれず」の踏み込みが足りないこと、横瀬が直面する問題(雇用減少や過疎化に伴う先々収支の悪化傾向)に対する危機意識、掘り下げが足りないことは今後の課題。気持ちのこもった執行に期待したい。



補正予算：町の予算は3月議会に上程され、可決されて事業が執行されることとなります。しかし、その年度当初に組んだ予算（当初予算）成立後に、自然災害などの予想できない事態が発生した場合などには、予算を増額する必要があります。計画されていた工事が中止されるなど、減額される場合もあります。

議会はいつに注目、町に聞きました！

23年度補正予算について質問

問 一般会計：大気環境保全対策事業を利用し、電気自動車等充電設備（道の駅・国道沿い）を設置するため等の増額補正です。

答 （総務費）本庁舎施設設備等修繕工事とあるが、どのようなものか。

問 庁舎内の一部照明をLED化するものです。

答 （民生費）地域密着型サービス施設整備事業費の減額があるが、申請者が事業の取り下げをしたためです。

問 （農林水産業費）地域振興拠点施設管理事業で施設用備品購入費の内容を詳しく知りたい。

答 果樹公園あしがくぼ（道の駅）の冷凍庫等の消耗が激しいため、購入するものです。

下水道特別会計

問 施設維持管理費の検査手数料の減額があるか。

答 放射能検査の検査手数料が割り引きになったための減額です。

条例を改正しました

横瀬町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例

スポーツ基本法の制定に伴う字句の整理です。

体育指導委員長

↓スポーツ推進委員長

体育指導委員

↓スポーツ推進委員

横瀬町介護保険条例

第5期介護保険事業計画及び介護保険法施行令の一部改正に基づき、平成24年度から平成26年度までの介護保険料について定めるため、3年ごとに見直しするものです。

保育制度拡充の意見書を議会総意で国に提出

子どもの健やかな育ちを保障し、安心して子どもを産み育て、働き続けられる保育制度の一層の拡充を求めるため、意見書を国（内閣総理大臣・副総理・少子化対策担当大臣・総務大臣等）に提出することを可決しました。

東（西）奔（走） 安全性を確認 現地視察

災害廃棄物（木くず）の 3/25 実証試験 —三菱マテリアル(株)横瀬工場—

埼玉県からの協力依頼があり、三菱マテリアル(株)横瀬工場で、岩手県野田村周辺の木くずを受け入れることを検討するため、地元横瀬町住民代表立ち会いのもと、県による実証試験が行われました。

当日は晴天で、予定どおり被災地より木くずが搬入され、三菱マテリアル(株)横瀬工場内で搬入時・荷下ろし後と2カ所で放射線の測定を数回にわたって行い、一連の搬入からのルートを確認しました。

放射線量は基準値以下…視察を終えて思うこと

実証試験は厳重に警備されている中で行われました。なお放射線量（数値）は基準値より低い値でした。

被災地からの木くずを目の前にして、震災や原発事故がなければ、皆が不安に感じることはないのにと思いましたが、自然の猛威はどうすることもできません。

ただ、被災地支援の立場でできることを少しでも協力していけたら素晴らしいと感じました。

住民の不安を取り除くためにも、住民説明会等を通じて、十分な説明を望むものです。

会議だけじゃない！
「見て・聞いて・じかに感じる」
これも議員の仕事です。



写真は、議会で三菱マテリアル(株)横瀬工場を視察したときのようす（2月27日）



おおののぶえ
大野伸恵議員が聞く！

町道整備ほか

問 身近な生活道である町道の改良整備について伺う

答 状況を見て実施計画に入れる

問 生活道の町道幹線2級道路などの改良整備について。

答 建設課長：危険度、用地の協力等を見て、実施計画に入れていきたいと考えています。

問 未整備の幹線2級道路の改良は地元の要望により実施

このことだが、町全体の道路改良の優先順位で行われていると思っていた。身近な生活道であり、町として独自に危険箇所を調べるなどして改良計画を行うことはないのか。

答 建設課長：実施計画に載せ、順次整備を行っています。

各地から要望のあった路線、危険と思われる路線を実施計画に載せています。未整備路線は20%ほどであり、用地等の協力が得られれば実施計画に入れていきたいと思

わかばやしそらいちろう
若林想一郎議員が聞く！

賃借地解消ほか

問 行財政改革に向けての取り組みは

答 今後も検討していきます

問 町の賃借地の解消について、町の賃借地の面積及び年間の賃借料はどの位あるのか。

答 まち経営課長：面積は約11万平方メートル（3万3000坪）あり、年間の賃借料は約4750万円です。

問 年間4750万円（参考：小中学校の給食費年間3820万円）は10年間で4億7500万円。この金額なら必要な土地は買収できるのでは。そして地主との信頼関係のもとで優遇税制等も活用してはどうか。

答 まち経営課長：地主の了解のもとで買収を検討していきます。また、優遇税制等も検討していきます。

問 国民健康保険制度について、国の平成22年度国保会計は3900億円の赤字と発表されているが、町はどのように取り組んでいるか。

答 建設課長：今後、町道改良等実施計画書に記載し、検討路線としていきたいと思

る。例えば小鹿野町では、医療費削減のために在宅ケア事業を展開し、老人医療費は、県内で最も低い額となっている。また、国保税の資産割については検討されているのか。

答 健康づくり課長：町民の健康増進と予防医療をさらに推進し、保健事業の充実を図っていきます。保険税は3年に1度の見直しの時期に検討していきます。

問 町民グラウンド周辺、ウォーキングコース設定に伴う歩道の整備について伺う。

答 建設課長：今後、町道改良等実施計画書に記載し、検討路線としていきたいと思



町民グラウンド周辺



一般質問とは、議員が政策提言も含めて町政全般について質問するものです。質問したい議員は、事前に「この質問をします」ということを示した「通告書」を提出しておかなければなりません。なお、横瀬町の本会議一般質問の持ち時間は、原則1人1時間以内です。

「6名の議員が、町に考えを聞きました」



一般質問の記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています。全文は、図書館に設置されている会議録のほか、議会ホームページからもご覧いただけます。

こいずみはつお
小泉初男議員が聞く！

人材活用 ほか

問 職員の人材活用について、

町の考えは

答 適材適所で行っています

問 12月定例会で職員の資格取得者は88名と聞いたが、資格状況の実態は何か。民間では草刈りやチェンソーも資格が必要。土木施工管理士などの専門の資格を必要と考えないか。また、資格を生かした人材活用はどのように考えているか。

答 副町長：ミニデイサービスや子育て支援事業を展開しています。全体計画が未定なので耐震などの改修工事はしていませんが、今後、利用が確定したら考えていきたいと思っています。

問 根古屋城址の調査研究を実施したが、どのようなものが発掘されたのか。それらを活用した整備が必要と思うが、今後の取り組みや再整備の計画は。

答 教育次長：発掘されたのは中国の宋時代の高級染付陶器の破片、かわらけ、復元可能な縄文土器の破片などです。現状のまま文化財として保存します。

問 元あしや豆腐利用施設の今後の利用推進について。

答 副町長：現在、有効活用を検討しています。まず電気自動車充電施設を設置いたします。

問 旧芦ヶ久保小学校の利用と実績について、また今後の施設の改修及び事業の計画予定は。

答 副町長：現在、有効活用を検討しています。まず電気自動車充電施設を設置いたします。



旧芦ヶ久保小学校

ないとうすみお
内藤純夫議員が聞く！

復興支援 ほか

問 被災地復興の木くずの受け入れ、町の対応は

進めていきます

答 県と連携し、慎重に

進めていきます

問 町長の被災地復興支援に対する考えは。

答 町長：日本人全体の本質が問われている今、日本人としての誇りを持ち、恥じるのではない行動をとる。

問 東日本大震災の被災地復興のため、「木くずの受け入れ」が必要不可欠で急がなければならぬことだと思いが、横瀬町の対応は。

答 振興課長：1月に埼玉県と三菱マテリアル(株) 横瀬工場とで受け入れについて協議がなされ、その後、県より町に広域処理に向けた協力依頼がありました。安全性の確認と住民説明会の実施を要望し、町民の皆様の理解が得られるよう、県と連携し慎重に進めていきます。

問 どのような防災行政・災害対策を考えているのか。

答 副町長：火災・地震・不審者等を想定し、年3回避難訓練を行い、予定時間内に避難できています。児童・生徒をより安全に避難させるため、避難場所も、変更を加えています。

問 総務課長：24年度防災予算は大幅に増額しました。災害時に必要となる物資・資材の備蓄ならびに自主防災組織の設置も進めます。

問 横瀬小・中学校の防災は。

答 教育次長：火災・地震・不審者等を想定し、年3回避難訓練を行い、予定時間内に避難できています。児童・生徒をより安全に避難させるため、避難場所も、変更を加えています。

また交通安全教室を開き、自転車の安全運転も指導しています。



とみたよしなり
富田能成議員が聞く！

木くずの受け入れ

問 木くずの受け入れについて

町の考えは

答 まずは安全性の確認です

問 木くずの受け入れについて、新聞で報道されたり、具体的な手続きの話などが進んでいるような状況にあるのに、住民から見ると横瀬町としての考え方が現状全く見えてこない。

答 町長…3月25日の実証試験の結果を住民に知らせた上で、態度を表明させていただきたいと思えます。県と工場が主体の話であり、町自体が住民に対して、すべての責任を負えるわけではないということとは、理解してほしいと思います。

問 町長…確認する必要があるのは「安全性」に尽きます。

答 そつであれば、少なくとも「安全性の確認が必要で、それができれば前向きに検討する」という基本的な考え方だけでも住民に伝える必要があらう。

軽々に発言できない繊細な問題であるのは理解するが、住民が判断するための基準となる横瀬町としての考え方を住民に伝える努力はしてほしい。



三菱マテリアル(株)横瀬工場

わかばやしすみこ
若林スミ子議員が聞く！

子育て支援

問 便カラーカードを母子手帳にとじ込む考えは

答 平成24年度から

とじ込む予定です

問 母子手帳の表紙の改訂や、新生児の胆道閉鎖症の早期発見のため「便カラーカード」をとじ込むことについて、当町の取り組みは。

答 健康づくり課長…母子手帳の表紙は、現在ミッキーマウスの絵柄を使用、また平成24年度から便カラーカードをとじ込む予定になります。

問 ブローさんのシール等があるなら、手帳に貼ってはどうか。

答 健康づくり課長…検討してみます。

問 自転車事故防止策で、小中学校での交通安全教室の取り組みについて伺う。

答 教育次長…教育現場では、交通安全教室を開き、自転車の安全運転を指導しています。

問 自転車購入時に盗難保険に入っているも、賠償保険に

答 加入する方は少ないと見受けられるが、必要性をどう考えるか。

問 総務課長…賠償保険の必要性も考慮し、講習会を充実させていきます。

問 学校施設等避難場所の防災強化の考え方はどうなっているのか。

答 総務課長…自家発電機は、消防団や役場等で保有しており、平成24年度予算で容量の大きい発電機を2台購入する予定です。備蓄倉庫の設置は、今の段階では考えておりません。

便カラーカードとは、胆道閉鎖症の早期発見のために用いる、新生児用の便識別カードです。



平成23年度 議長交際費 こんな使い方をしています。



4月

12日 横瀬町老人クラブ連合会総会会費 3,000円

5月

13日 横瀬町消防団歓送迎会会費 7,000円

17日 鉾山保安式典終了後懇親会会費 3,000円

21日 横瀬町婦人会総会会費 3,000円

6月

6日 横瀬町商業連盟総会後懇親会会費 2,000円

7日 秩父商工会議所平成23年度通常議員総会・懇親会会費 10,000円

9日 横瀬町観光協会懇親会会費 3,000円

18日 滝沢ダム建設事業完了に伴う感謝の集い会費 2,000円

23日 横瀬町シルバー人材センター定期総会後歓送迎会会費 4,000円

7月

12日 2011原水爆禁止国民平和大行進賛助金 3,000円

8月

1日 弔慰等 議会議員 実母 御見舞・香典 10,000円

1日 弔慰等 議会議員 実母 花環代 5,000円

11日 横瀬観光ぶどう組合開園式会費 3,000円

14日 秩父音頭まつり会費 5,000円

15日 長瀬船玉まつり会費 5,000円

10月

9日 龍勢観光祭会費 2,000円

20日 第44回(社)埼玉県調理師会秩父大会会費 5,000円

23日 奥秩父大滝紅葉まつり会費 2,000円

11月

13日 寺坂棚田学校収穫祭会費 1,000円

17日 弔慰等 元議会議員・自治功労者 御見舞 香典 10,000円

17日 弔慰等 元議会議員・自治功労者 花環代 5,000円

18日 米寿喜寿祝賀会会費 3,000円

20日 ちちぶ荒川新そばまつり会費 2,000円

21日 弔慰等 元議会議員 香典 5,000円

27日 菊花展覧会表彰式会費 3,000円

12月

9日 2011年 年末救援統一募金賛助金 3,000円

11日 小鹿野町・飯田八幡鉄砲まつり観光懇談会会費 2,000円

14日 横瀬町消防団役員忘年会会費 7,000円

15日 秩父地方報道連盟主催年末懇談会会費 10,000円

22日 秩父地域議長会定例会及び懇親会会費 4,000円

1月

6日 秩父商工会議所新年初顔合わせの会費 1,000円

7日 横瀬町消防団・横瀬町消防支援隊との懇親会会費 5,000円

17日 J A ちちぶ新年祝賀会会費 5,000円

30日 横瀬町観光協会新年会会費 3,000円

2月

17日 横瀬町消防団・横瀬町消防支援隊との交流会会費 6,000円







3月

27日 ちちぶ定住自立圏関係者懇親会会費 6,000円

36件、合計158,000円を支出しました。

(平成23年4月～24年3月)

「私たちが編集しています！」 議会だより編集委員会

- 委員長 若林スミ子 
- 副委員長 大野 伸恵 
- 委員 関根 修 
- 委員 内藤 純夫 
- 委員 新井鼓次郎 
- 委員 富田 能成 

平成24年度の予算も可決され、新しい年度がスタートします。これからも編集委員会は町民の皆様と議会との架け橋として頑張っていきます。(S・N)

編集後記

生活に戻れることを願わずにはられません。

3月議会は、6名の議員が一般質問を行い、議会も活気を帯びています。震災から学ぶように、横瀬町の防災についての質問が数多く出ました。



東日本大震災から1年がたち、震災で亡くなられた方の冥福と被災地の復興を願い、3月議会初日に黙祷を捧げました。仮設住宅で生活している方々が早く元の生活に戻れることを願わずにはなりません。